

KGA



'01秋季号
2001年10月1日発行



目次

ゴルファーのためのマナー基礎講座(11)

「する人」と「見る人」	1
平成13年度(第1回)関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技	3
平成13年度(第1回)女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技	6
平成13年度 関東シニア選手権決勝競技	8
平成13年度(第22回)関東ジュニア選手権決勝競技	11

平成13年度(第1回)KGAジュニアゴルフ大会	16
(第7回)ジュニアゴルフ大会	16
新規加盟倶楽部紹介	23
常務理事会・分科委員会	26
月例競技成績表・お知らせ	32

表紙Photo 武蔵カントリークラブ・笹井コース(撮影・渡部義一)

KGA 関東ゴルフ連盟

11 ゴルファーのためのマナー基礎講座

「する人」と「見る人」

文・鷲巣 力(スポニチ専門委員)
カット・山縣和彦

スポーツや芸術は、普通、「する人」と「見る人」がいて成り立つものである。もちろん「する人」だけで「見る人」がいない場合もある。意識的に「見る人」を排除する場合。心ならずも「見る人」がいない場合。だがそれは少数であり、「見る人」がいる場合のほうが圧倒的に多い。では、この「する人」と「見る人」の関係はいかなるものなのだろうか。

◆◆「ホーム」と「アウェイ」◆◆

フットボールや野球の試合には「ホーム」と「アウェイ」がある。普通「ホーム」のほうが「アウェイ」よりも有利であるとされる。それにはいくつかの理由がある。心理的かつ肉体的な負担になる遠征旅行を強いられることもその1つだ。競技場にはそれぞれ個性があるが、その個性に慣れていない競技場で試合をしなければならない、ということももう1つの理由だろう。しかし、もっと大きな理由は「見る人」＝「観客」にあるに違いない。

「ホーム」の試合の観客には、普通、自チームファンが多い。おのずと自チームへの声援が多くなる。自チームへの暖かい、あるいは熱い声援を受けて奮い立たない選手は少ない。これと反対に、「アウェイ」でどんなにいいプレーをしても何の反応もなければ、選手は挫けそうになるだろう。さらに観客からヤジやブーイングを受ければ意気阻喪してしまう事だって少なくない。その結果、「ホーム」のほうが有利だということになる。

演劇や音楽でも同じである。まず観客の入りが多いか少ないか。観客が少ないのに気分

が乗ってきて集中力も増す、ということは考えにくい。大入り満員の観客を目の前にすれば、演技者や演奏者は気を良くして、おのずと演技や演奏にも力が入り、出来は良くなること請け合いというものである。

絵画や彫刻など造形芸術の場合はどうか。多くの造形芸術は完成された作品が美術館や画廊に展示されるから、制作過程は見えない。しかし、故人となった芸術家はともかく、現存の芸術家の場合には、事後であろうとも「見る人」(評論家のみならず普通の愛好家を含めて)の反応がなんらか伝わる。それは次作に少なからず影響を与えることになる。もっと直接的に「見る人」の反応を肌で感じながら、それを制作に活かしたいという意図のもとに行われるのが、「公開制作」である。画家の横尾忠則氏がよく用いる方法である。

ここに挙げた例から、「する人」と「見る人」の間には一種の〈共同作業〉が成立していることがわかる。では、望ましい〈共同作業〉が成立する条件とは何か。

◆◆〈共同作業〉の3つの条件◆◆

まずは観客の「数」。どれほどの観客が見ているか、ということはプレーする選手にとってはとても大事である。やはり少ない観客よりも多い観客の前でプレーするほうが、普通は励みになり、「いい結果」が期待できる。なかには観客は少ないほうがいいという人もいるだろうが、それは例外といってよいだろう。

といって、観客数は多ければいいというものでもない。観客の「質」という問題があ



る。スポーツにしろ、芸術にしろ、いわゆる「見巧者」という人たちがいる。あるいは「通」。「見巧者」や「通」は劇場や競技場に足繁く通い、機微に通じ、「勘所」を知っている。こういう人たちはプロ以上に競技に通じている場合さえある。

聞いた話だが、今、野球評論家をしている関根潤治氏が、まだ現役選手の時代、自分の守備位置につこうとすると、「そこじゃないだろう、もっと右だ」とか、「もっと前だ」とかいうヤジを受けたことがあるという。「それが『当たってる』ことがある」のだと。野手というものは、投手によって、打者によって、投げた球種によって、塁上に相手選手がいるかないかによって、点差によって、カウントによって、微妙に、一球一球、守備位置を変える。それを分かっている飛ばしたヤジであり、「当たっている」とすれば、かなりの「通」である。「見る観客」というより「する観客」というべきだろうか。こういう観客は表面的な勝ち負けだけではこだわらないし、おそらく鐘太鼓で騒がしい見方をしたりはしない。

歌舞伎では、おもに大向こうから役者に声がかかる。このとき大事なのは、かける声の質、音量、そして何よりもタイミング。この声のかけかたによって、役者は、乗ったり、乗り損ねたりする。声をかける観客はまさしく「する観客」である。だが、達者な声のかけかたが出来ようになるには、それなりに年季が要る。だれにでも出来ることではない。

◆マナーを守るもプレーのうち◆

だれにでも出来ることは「マナー」を守ることである。この「マナー」を守るとは、望ましい〈共同作業〉のための第3の条件である。「マナー」を守るとは、それほど難しいことではない。プレーする人にいい環境をつくってやること。不愉快な思いをさせないことである。近年では、不愉快にさせるものに携帯電話の着信音がある。

最近の劇場には、携帯電話などの電波を遮断す



る装置がついているので、少なくなったが、以前は、劇場の中で、しかも上演中に携帯電話が鳴り出すことがままあった。もう数年前になるが、クラウド・オブ・アバドがベルリンフィルハーモニーを指揮していたときのことである。演奏曲目はマーラーの交響曲。マーラーの作品は、大音響を鳴らすところと、かすかな音を微妙にそして美しく響かせ

るところとが、交互にやってくる。あいにくと弱奏のところで電話が鳴り出した。ところが、着信音が周囲で鳴っても、だれの電話が鳴っているのかは、よく分からない。あるいは本人は知っていたのかもしれないが、その着信音を止めようとせずに「知らぬ半兵衛」を決め込んだからたまらない。着信音はずっと鳴りっぱなし。演奏はもうぶち壊しである。指揮者のアバド氏は、終演後「鳴っちゃいましたね」といったそうだが、演奏者も聴衆も不愉快な思いを味わうこととなった。

ゴルフでも携帯電話の着信音は難敵である。まさか、プレーする人の近くで通話する人はいないだろうが、着信音が鳴り出すことはある。しかも、今の携帯電話ではゴルフ場のどこにいても鳴るわけではないかもしれないが、いずれ衛星を使うようになれば、どこにいても鳴る可能性が出てくる。しかも、劇場のような狭い空間なら電波を遮断できるが、広いゴルフ場では不可能だろう。

いざ打とうというときに、着信音が鳴り響いたら、よほどの人でない限り集中力を失う。携帯電話のみならず、カメラのフラッシュはおろか、シャッター音でさえ、影響される。

ゴルフのような極めてメンタルなスポーツでは、やはり観客のマナーがプレーを左右する。加えて、いいプレーをしたプレーヤーには惜しみない拍手でたたえることが、プレーする人にとって、どれほど大きいことか。ゴルフでいいプレーを期待するなら、観客のマナーが不可欠であることを知らなければならない。なぜなら、「する人」と「見る人」はいつも〈共同作業〉を営んでいるのだから。

平成13年度(第1回)関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成13年9月27日(木)~28日(金)
●開催コース 江戸崎カントリー倶楽部・東コース 6,901ヤード パー72

勝機をつかんだ奇跡のイーグル ——第1回大会を飾る17番、徳永の一打——

文・塩田 正 (KGA広報委員) 写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

平成13年度、第1回関東ミッドアマチュア選手権は、9月27、28の両日、茨城県の江戸崎カントリー倶楽部東コース(パー72)で行われ、17番ホールで奇跡的なイーグルを挙げた徳永雅洋(ザ・レイクス)が、2日目68のベスト・スコアをマークした阪田哲男(袖ヶ浦)に並びかけ、結局、プレー・オフの1番ホールで阪田のボギーに対してパーで上がり、初の優勝を遂げた。

イーグルで追いついた徳永

「ガチャーン」——最終ホールで前の組の遠くからのを待っていた阪田哲男(袖ヶ浦)のすぐ近くの17番グリーンで、激しく旗竿を叩く音がした。振り返った阪田の目にはボールが当たった衝撃で旗竿がぐらぐら揺れるのが見えていたし、ギャラリーの「オーッ！」という声も聞こえていた。

「イーグルだ！」

だれかが大声で叫ぶ。

「だれが打ったの？」

もう1人のギャラリーが尋ねる。

「徳永だ！」

この声で阪田の顔がぐっと引き締まった。

阪田は17番を終わって5アンダー。そのときはすでに前日トップ・タイ(4アンダー)だった堀内健(千葉国際)が10番ホール(545ヤード)で2つのOBの末、9という大叩きで消え、同じく首位タイで第1日を終えた和田雅英(東京五都市)も15番(444ヤード)でダブル・ボギーを叩き、天を仰いだという情報が阪田の耳に届いていた。18番ホールを残した段階で、阪田は自分の優勝を信じていたはずである。

そこで起こった徳永雅洋(ザ・レイクス)のイーグルの衝撃音である。3アンダーの徳永はこのイーグルで5アンダーとして、トップを行く阪田に一挙にタイに持ち込んでしまったのだ。

阪田はニコニコ顔で17番グリーンに上がってきた徳永に、

「オイ、オレはいまのいままでこの18番を5番アイアンで打とうかと思っていたんだぞ」と声をかける。

ま、5番アイアンは冗談としても、阪田は短いトリッキーな18番ホール(510ヤード)のティー・ショットをロング・アイアンで打っていった、確実



初代チャンピオン 徳永雅洋さん



プレーオフのスタートを見送るギャラリー

に5で上がり、5アンダーをキープして優勝——という青写真を脳裏にえがいていたにちがいない。その阪田の夢は、この「ガチャーン」という音とともに大きく砕け去ってしまったのである。

徳永は和田、堀内が後退したあと、静かな闘志を燃やして1人走る阪田の後ろ姿を視野から離すまいと懸命に追い続けていた。15番ではカラーからパターで直接カップに入れるバーディを奪取、ここで阪田との差はさらに縮まって2打となった。

このとき徳永は「最終ホールをバーディの4と計算し、16、17番のどちらかでバーディをとれば阪田さんに追いつける」と計算していた。だが一歩一歩阪田に近づこうという徳永の作戦は、17番のイーグルであつという間に阪田に並びかけ、嬉しい誤算となった。

「140ヤード残ってしまっていて、8番アイアンで打ちました。自分でもこれ以上ないと思えるナイス・ショットでした」

優勝を決めてクラブ・ハウスに上がった徳永は、興奮とめやらぬ様子で、こんなふうにした。<タイに追いつくためには、この17番でどうしてもバーディを出さなければ>こんな気持ちがナイス・ショットを生み、そのボールが旗竿の下から3ヤードのところを直撃、そのままカップに落ち込むスーパー・ショットにつながったと見られる。

阪田、バーディ成らず

一方、阪田はこの徳永のショットを見て、戦法を変えた。「アイアンでティー・ショットを」というレイアップ戦法から、ドライバーの飛距離を

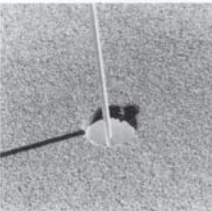
利用してのバーディ奪取作戦に変更したのである。しかし、18番で阪田はそのドライバーを右のラフに打ち込み、2オン作戦に失敗し、結局、このホールをパーとして徳永を突き離すチャンスを逸した。戦いが終わって阪田は、「18番がすべてだった」と語っていたが、会心のドライバーを打てなかったことに悔いを残しながら徳永の上がってくるのを待った。

18番をプレー中の徳永は阪田がいくつで上がったのか、まったく知らされてはいなかった。阪田と同様に右のラフヘティー・ショットを入れたとき、「阪田さんのことだからバーディは固い」とは思っていた。

徳永の第2打は松の木が邪魔して直接グリーンを狙えない。左からの迂回作戦をとり、3打でピンそばを狙ったがこれが2メートルほどショート。スライス・ラインの難しい状況だったが、いぜんとしてバーティ・チャンスであることに変わりはない。だが「まったくどちらへ曲がるか見当もつかなかった」という徳永は、これを右へはずして、阪田の5アンダーとタイのまま終わった。結局、初の関東ミッドアマの行方はプレーオフに持ち込まれることになった。

1番ホールで行われたプレー・オフは、2オンを狙った2人の第2打がともにグリーンの右横に口をあける大きなバンカーへ消えた。先に打った徳永の30ヤードのバンカー・ショットは大きくショートして20ヤードも残す。これを見て一挙に勝負に出た阪田は、25ヤードの距離をきわどく狙ったが、これが薄くはいりすぎてホームラン。OB線近くまで転がり、徳永の2パットに対して5オン1パットのボギーで万事休した。

“ガチャーン”の一発が明暗を分けた一戦だったが、プレーオフを終わって「ゴルフの勝負は最後の最後までわからない」とつぶやいて去ったある競技委員の言葉がこの決勝のすべてを物語っているようであった。



奇跡の1打で壊れたカップ

平成13年度(第1回)関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー120名/出場者113名/欠場者7名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	徳永 雅洋	ザ・レイクス	69	70	139
2	阪田 哲男	袖ヶ浦	71	68	139
3	館 英樹	富士 笠間	71	70	141
3	和田 雅英	東京 五日市	68	73	141
5	永井 英輔	沼 津	72	71	143
5	和田 博	東京 五日市	74	69	143
7	有馬 昌宏	千葉 国際	72	75	147
8	伊藤 幸信	児玉スプリングス	73	75	148
8	中原 正人	相模 原	73	75	148
8	日暮 俊明	扶桑 桑	73	75	148
8	本山 年夫	藤ヶ谷	74	74	148
12	千野 英樹	イーストウッド	75	74	149
12	大山 和則	スプリングフィールド	73	76	149
12	高安 信行	セントラル	73	76	149
12	原 剛雄	横浜 浜	76	73	149
12	中川 雅義	横 津	73	76	149
12	嶋田 憲人	青 梅	74	75	149
12	全 浩延	埼玉 原	71	78	149
12	堀内 健	千葉 国際	68	81	149
20	梅澤 武彦	津久井 湖	76	74	150
20	菅谷 昭雄	成田スプリングス	76	74	150
20	木村 哲也	千葉 葉	76	74	150
20	角田 充弘	富 里	71	79	150
20	伊東 克家	京	73	77	150
25	村田 三郎	セントラル	75	76	151
25	車崎祐一郎	扶桑 桑	77	74	151
25	上島 英信	ニッソ	74	77	151
25	室野 歩	東 千 葉	74	77	151
25	宮本 清	小 川	70	81	151
30	白井 敏夫	総 武	76	76	152
30	高橋 敏	大 秦	76	76	152
30	江原 進	杉ノ郷	75	77	152
30	青木 秀樹	高 根	73	79	152
30	沢田 信弘	東京 五日市	74	78	152
30	杉山 稔	総 武	73	79	152
30	鹿島 康裕	富士 平	74	78	152
30	杉山 和正	大 利	75	77	152
38	松下 定弘	セバ・バステロス	78	75	153
38	水野 潤一	富士 平	75	78	153
38	額賀 義朗	船 橋	78	75	153
41	笠川喜久男	鷹 之 台	79	75	154
41	金田 永達	太平洋・ヒルクレスト	73	81	154
41	成田 稔	都 賀	75	79	154
41	小野瀬弘記	龍ヶ崎	78	76	154
41	神戸 誠	太田 双葉	75	79	154
41	竹村 昭雄	嵐 山	73	81	154
41	原田 晃	潮 来	76	78	154
41	横山 正一	白 帆	76	78	154
49	後藤 浩	セバ・バステロス	80	75	155
49	杉田 敬三	多 摩	81	74	155
49	和田 光司	嵐 山	77	78	155
49	内野 忠徳	鶴 舞	77	78	155
以上日本ミッドアマチュアゴルフ選手権競技出場有資格者					
49	衣笠 学	千葉 新日本	77	78	155
54	姥貝 丈司	潮 来	79	77	156
54	飯塚 裕一	藤 岡	80	76	156
54	高橋 諒光	鳩 山	78	78	156

予選競技メダリスト選手

第1ブロック(鳩山カントリークラブ)
宮本 清(小 川) 70ストローク

第2ブロック(富士小山ゴルフクラブ)
永井 英輔(沼 津) 71ストローク
沢田 信弘(東京五日市)

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
54	内田 孝	戸 塚	79	77	156
54	米倉 治	松 本	76	80	156
54	鈴木 高廣	成田スプリングス	74	82	156
54	高梨 庄司	富士 御殿場	75	81	156
54	高村 保	コスモクラシック	76	80	156
54	中川 利一	大 利 根	74	82	156
54	戸祭 康生	芳 賀	76	80	156
64	鹿島 茂裕	富士 平	80	77	157
64	梁瀬 正晴	鳩 山	79	78	157
64	飯岡 雄一	鷹 之 台	78	79	157
64	露木 実	東 名 厚 木	76	81	157
64	星代 亮	鹿 沼	75	82	157
69	荘 忠明	関越ハイランド	83	75	158
69	門田 誠一	矢 板	81	77	158
69	大城 哲男	東 名 厚 木	79	79	158
69	小島 亘	川 越	80	78	158
69	伊藤 佐一	藤 岡	79	79	158
69	衣笠 洋司	富 里	76	82	158
75	福川大次郎	メイプルポイント	82	77	159
75	山口賢一郎	富士 小山	81	78	159
75	千年原一仁	京	76	83	159
75	畑 稔	富士 小山	80	79	159
75	小林 勝美	武 蔵	76	83	159
80	佐々 憲夫	スプリングフィールド	83	77	160
80	河本徳三朗	相 模 原	80	80	160
80	丹羽 基広	小 金 井	77	83	160
80	日下部吉男	江 戸 崎	78	82	160
80	白井 旭	相 模 原	78	82	160
80	椎木 茂	富士 小山	77	83	160
80	浮ヶ谷信夫	総 武	83	77	160
87	柳澤 達哉	鷺 塚	81	80	161
87	木田 均	江 戸 崎	81	80	161
87	佐々木 巧	相 模 湖	78	83	161
87	宮本 良正	利 根	77	84	161
87	石川 明	入 間	75	86	161
92	仁平 克弥	東 筑	81	81	162
92	吹野 耕一	都 賀	78	84	162
92	浅野 博司	浦 和	81	81	162
95	加藤 倫康	鹿 沼 7 2	80	83	163
95	成塚 義治	嵐 山	81	82	163
95	鈴木 東一	房 総	78	85	163
95	小谷野希市	飯 能	74	89	163
99	前山 正隆	富士 小山	83	81	164
99	杉浦 保幸	江 戸 崎	79	85	164
99	大郎 一成	東 筑	82	82	164
99	安藤 秀二	穴 戸	83	81	164
103	新田 元大	埼玉 国際	81	85	166
103	長島 竹人	東京 国際	74	92	166
105	棚橋 昭彦	G M G 八 子	83	84	167
106	指田 博	多 摩	85	83	168
107	井上 行信	大 厚 木	86	83	169
107	灰野 澄和	取 手 国 際	80	89	169
107	谷 重次	東 名	82	87	169
110	仲村高徳美	四 季	85	85	170
111	村井 重正	千葉スプリングス	84	92	176
(棄権)	大西 憲彦	鳩 山			
(棄権)	伊坂 弘道	立 川 国 際			

平成13年度(第1回)女子ミッドアマチュアゴルフ選手権

●開催日 10月3日(水)~4日(木)

●開催コース 藤ヶ谷カントリークラブ 6,098ヤード パー72

レディースの静かな闘い

文・山田和臣 (KGA広報委員)
写真・片山晴美 (KGA広報委員)



高麗芝・高速のため慎重になるパッティング

年齢とはいえ、2日間(指定練習日を加えれば4日間)も家を空ける事は難しいことがその原因ともいえる。

コースセッティングは特別に難しくはなかったが、グリーンが高麗芝、それも9フィートの高速であったため、パッティングに苦勞する選手が多かった。

そのためか、スコアが伸びず、2日間を通じて、70台がわずかに4名という成績であった。

何人かの選手に、今後のことを質問したが、大会の意義は大いに認めるものの、費用、日程についての改善が望まれるとのことであった。



初代チャンピオン 市川慶子さんにカップを贈る新井安寿競技委員長



これまで、女子ミッドは、日本女子ミッドの関東地区予選競技として開催されてきた。(男子も同じ)。しかし、参加者の強い要望があり、今年より関東のチャンピオンシップとなった。

参加資格は30歳以上であるため、関東女子と違い、ジュニア、学生の姿は見られない。そのためか、ほとんどの参加者は顔見知りの間柄なので、緊張感よりも和気あいあいムードがただよっていた。

参加者数は思ったより少なく、今後の課題として残された。家庭を持ち、子育てが一段落した年



参加者は顔なじみ同士 和気藹々のパーティ

平成13年度(第1回)関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー103名/出場者95名/欠場者8名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	市川 慶子	江 戸 崎	77	77	154
2	原田 町子	習 志 野	81	77	158
3	関根奈穂美	セ ン ト ラ ル	82	78	160
3	佐々木祥子	妙 高	80	80	160
3	加藤 理刈	伊 豆 大 仁	82	78	160
6	青木 英子	千 葉	82	80	162
6	南雲 真里	岡 部 チ サ ン	80	82	162
8	橋 達子	船 橋	81	82	163
8	加藤 勝栄	相 模 原	81	82	163
10	竹田百合恵	グリーンバレイ	83	82	165
10	石津久美子	セベ・パレストロス	84	81	165
10	野尻ゆかり	セ ゴ ビ ア	83	82	165
10	小坂 順子	千 葉	82	83	165
10	松村 清子	東 松 苑	85	80	165
15	露木 直子	東 名 厚 木	84	82	166
16	五十嵐洋子	藤 岡	84	83	167
16	富田南海子	ロイヤルオーク	87	80	167
16	平田 悦子	カレドニアン	85	82	167
19	原 慈子	児玉スプリングス	88	80	168
19	布施 和子	甲 斐 駒	88	80	168
19	林 恵子	小 御 門	85	83	168
19	大田 雅子	千 葉 国 際	84	84	168
19	今井 啓子	白 鳳	86	82	168
19	服部 みつ	伊 豆 大 仁	83	85	168
19	大熊たまみ	グレンビークマナー	81	87	168
26	川島みち子	平 塚 富 士 見	84	85	169
26	小川 美佳	御 殿 場	84	85	169
26	吉崎 範子	東 名 厚 木	86	84	170
28	猪股美恵子	上 総 富 士	86	84	170
28	柴田 章江	浦 和	85	85	170
28	川口文郁恵	奏 野	84	86	170
28	長瀬 万寿	東 京	84	86	170
28	矢島智都子	霞 ヶ 関	84	86	170
34	浅川 洋子	高 坂	85	86	171
34	吉田美由紀	白 鳳	84	87	171
34	高野 順子	南 摩 城	83	88	171
37	藤井恵利子	富 士 御 殿 場	85	87	172
以上日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝出場有資格者					
37	増田 京子	筑 波	89	83	172
39	利 和子	日 高	90	83	173
39	籠島 啓子	横 浜	87	86	173
39	浜堀 由香	高 根	85	88	173
42	金川 麗子	都	89	85	174
42	榎原まり子	成 田 C C	90	84	174
42	津堅 典子	カ バ ヤ	88	86	174
42	古川美知子	東 千 葉	87	87	174
42	濱中 佐代	ユニオンエース	85	89	174

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
47	新井えり子	杉 ノ 郷	91	84	175
47	大山 孝子	相 模 湖	88	87	175
47	鈴木 昌子	飯 能	89	86	175
47	陳 公美	中 山	86	89	175
47	林 香蘭	袖 ヶ 浦	90	85	175
52	森本加奈子	玉 造	89	87	176
52	勝又 紀子	横 浜	89	87	176
52	北原アヤ子	玉 造	84	92	176
55	島田 真弓	鹿 沼 7 2	95	82	177
55	菊地恵美子	宇 都 宮	89	88	177
55	中村ゆかり	バ ー ク レ イ	86	91	177
58	西野 経子	ミ オ ス 菊 川	91	87	178
58	関下 美嘉	東 名 厚 木	92	86	178
58	福田 光子	東 名 厚 木	88	90	178
61	倉方 史	ザ・レイクス	92	87	179
61	伊東 法子	車 月 ・ 佐 野	94	85	179
61	人見 洋子	鎌 倉	89	90	179
61	上條 滋子	松 本	88	91	179
65	野瀬菜穂子	高 根	91	89	180
65	金子 弥生	東 名 厚 木	86	94	180
65	田中 純子	葉 山 国 際	89	91	180
68	石崎 邦子	水 戸	88	93	181
68	黒田 敏子	東 京 よ み う り	92	89	181
68	塚原 令子	東 千 葉	89	92	181
68	福田 和子	紫 塚	89	92	181
72	水野佐代子	東 名 厚 木	92	90	182
72	伊藤 結花	ザ・レイクス	89	93	182
72	田中 弓子	日 光	91	91	182
75	矢作美代子	習 志 野	92	91	183
76	笹野 房子	平 塚 富 士 見	94	90	184
76	木村美代子	嵐 山	89	95	184
78	大塚 尚子	筑 波	96	89	185
79	日下部由美子	習 志 野	93	93	186
80	夏賀 輝子	ミ オ ス 菊 川	96	91	187
80	丸山 君江	昇 仙 峽	96	91	187
82	小島とみ子	津 久 井 湖	95	93	188
82	白樹 栞	成 田 G C	90	98	188
82	横山サダ子	相 模 原	94	94	188
85	長谷川美子	鶴 舞	96	93	189
85	松山 朱実	南 摩 城	95	94	189
85	山内 佳子	太平洋・ヒルクレスト	92	97	189
88	小杉 育代	ミ オ ス 菊 川	95	95	190
89	大隅萬里子	横 浜	100	94	194
89	鈴木 浩子	横 浜	98	96	194
91	菊島 千春	葉 山 国 際	100	95	195
92	俄内 淳乃	太平洋・ヒルクレスト	103	93	196
93	西村 光子	相 模 原	96	103	199

平成13年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成13年10月9日(火)～10日(水)

●開催コース 習志野カントリークラブ・キングコース 6,493ヤード パー72

苦あれば楽あり 優勝あり

文・杉山通敬 (KGA広報委員) 写真・渡部義一

編集会議で本競技の担当を引き受けておきながら、試合当日、現地取材ができなかった。いかんともしがたい事情があつてのことだが、それは理由にならない。競技の棄権は正当な理由があれば認められるが、会報担当の棄権は理由のいかんを問わず責任をとらされる。

それで後日、事務局から当日の資料をファックスで送ってもらい、それを参考にしつつ優勝者の中村清選手に電話取材した。以下はその一問一答である。ちなみに、資料によると競技棄権者は15名に及んだ。それぞれに「正当な理由」があつてのことである。2日目は豪雨であつたが、それが理由になるはずはない。いや、シニア競技であるから、豪雨を健康上の理由にしても「正当」に当たるのかもしれない。「それにしても、15名とは多すぎるなあ」



2日目はものすごい豪雨

自分のことは棚に上げ、そう思ったが、事情は個別的なので一様には判断できない。平成13年、つまり21世紀最初の関東シニアゴルフ選手権決勝競技は「15名の棄権者があつた」という記録だけは



優勝者 中村清さん

残る。これが後年になって「多すぎる」と思われるか「ずい分と少なかったなあ」と思われるか。これは今後の「ゴルフ民度」によって判断されることであろう。

——優勝おめでとございます。失礼ですが、まず生年月日を教えてください。

「昭和10年（1935年）9月20日です」

——66歳ですか。豪雨の中、ご苦勞さまでした。それにしても初日、2日ともに76のスコアは、ことに2日目のドシャ降りの中で4オーバーはお見事でした。

「何もかも、全部が出来すぎです。雨でグリーンがよく止まってくれたので、大きなクラブで打ってもピンをデットに狙えたのが幸いました。距離の測定を間違えて2、3ホール、グリーンを外しましたが、あとはパーオンしました。持ち球が高いせいもあって、真上から落ちたボールがその場でピタッと止まってくれたので、私には雨が幸いましたね」

——恵みの雨？

「いえ、それにしても降りすぎだけど、苦にはなりませんでした」

——5番、6番のアイアンで打って、ふだんどどのくらいのランを見積もりますか。

「1ピンか、2ピンくらいですかね。そのランの

計算をしなくて済んだ分だけ楽でした。でも、アウトが終わった時点でまさか勝てるとは思わなかった。3番でバーディが取れたあと4ボギー、ことに5番と8番のパー5でボギーを出したのがいけません。5番は第3打を7番アイアンで打ったんですが、アゲンスドの風を余分に見積もりすぎ、グリーン奥へ抜けてしまい、4オン2パット。8番は80ヤードのアプローチを左へ打ちすぎて、3オン3パット。まだまだ、修行が足りません」

——でも、勝つ気でプレーしたのでしょうか？

「初日の76が本意だったし、2日目は前の組の高安信行選手がアウトの途中まで1アンダーで回っているということだったので、優勝は無理だろうけど5位以内には入りたいと思っていました。そして来年のシード権を取って、連続出場をしたいと思っていました。実は1994年に初優勝して以来、シード権だけは取りつづけていたので、それをどのくらい伸ばせるか、私なりの励みにしているんです。若い選手（といっても55歳以上）が年ごとに増えて、私はどんどん年を取って、容易ではないけれど——」

——心掛けというか、中村さんのゴルフのモットーがあったら、お聞かせ下さい。

「モットーというほどのものではないですが、苦あれば楽ありですね。練習でイヤというほど体を苦しめておけば、コースに出た時は楽しくプレーできると考えています。といっても練習は週に2回、200から300球程度です。ロングアイアンを中心に」

——ロングアイアンが不得意なのですか。それとも得意なのですか。

「いえ、好きなんです。ミスショットとナイスショットの結果がはっきり出ますから。手を使わずに、体をいじめて、体の回転で打たないといい

第2ラウンド

順位	選手名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	合計
		4	4	3	5	4	3	4	5	4	36	4	5	4	3	4	4	3	4	5	36	72
1	中村 清	4	4	2	6	5	3	5	6	4	39	3	6	5	2	4	5	3	4	5	37	76
2	高安 信行	4	3	4	6	4	2	4	5	5	37	4	4	5	3	5	5	4	5	6	41	78
3	原 雄雄	4	4	3	5	5	3	4	5	5	38	4	5	5	3	5	4	3	5	5	39	77
4	大野 勝夫	5	5	3	5	5	2	5	4	5	39	5	5	4	2	6	5	4	6	6	43	82

ショットが出来ない。これをやっておけばコースで楽になる、と思いながら打ってます」

——いじめ上手なんですか。

「ええ、コースで楽しみたいから」

30歳からゴルフを始めて、7年でハンディ9になり、今は水戸・ゴルフ・クラブのハンディ頭のプラス1。始めて数年後に川奈出身の上田銀平プロ（故人）に出会い、3年間マンツーマンのレッスンをみっちり受けたことが「今あるお陰です」と言う。

「手を使うな。体をいためつける」

というのが上田プロの教えだったとか。それが「苦あれば楽あり」という、中村流のゴルフモットーの素地になっているのであろう。

豪雨の中の優勝も、そのモットーのしからしむる成果であった。

参考までに上位4選手の第2ラウンドのホールバイホールを挙げておく。

数字の陰げにものがたりあり。苦と楽の錯綜あり。そして、想像たくましくすれば教訓すらも読み取れる。



平成13年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー148名/出場者132名/欠場者16名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	中村 清	水 戸	76	76	152
2	高安 信行	セ ン ト ラ ル	76	78	154
3	原 繼雄	横 浜	78	77	155
4	大野 勝夫	八 幡 橋	75	82	157
5	中野 弘治	相 模 木	80	78	158
5	高橋 功	習 志 野	81	77	158
5	中島 廣行	泰 野	79	79	158
5	金田 昌富	筑 波	77	81	158
9	奥山 淳一	袖 浦	77	82	159
9	中原 貞信	南 摩 城	77	82	159
9	加部 剛男	東 名	78	81	159
12	河村 友正	龍 ヶ 崎	79	81	160
12	小川 透	岡 部 チ サ ン	81	79	160
12	徳永 一充	龍 ヶ 崎	76	84	160
15	梶原 久義	甲 府 国 際	84	77	161
15	白井 旭	相 模 原	79	82	161
15	水野 裕司	リ バ ー 富 士	78	83	161
15	河本徳三朗	相 模 原	80	81	161
15	日下部吉男	江 戸 崎	76	85	161
20	岡庭 正春	鎌 倉 谷	83	79	162
20	星野 正治	武 蔵 野	83	79	162
20	山口 現朗	武 蔵 野	81	81	162
20	大山 四郎	新 千 葉	78	84	162
20	竹村 昭雄	嵐 山	79	83	162
20	関口 幸雄	芳 賀	79	83	162
20	菅沢多仁夫	富 士 御 殿 場	78	84	162
27	伊達 宗敏	東 名 厚 木	83	80	163
27	石井 幹	千葉スプリングス	83	80	163
27	小野 進	水 戸	83	80	163
27	土屋 貞雄	新 千 葉	80	83	163
27	清宮 和男	千 葉 国 際	82	81	163
27	田中 倉造	日 本 高 速	82	81	163
27	根本 太清	水 戸	78	85	163
27	新田 元大	埼 玉 国 際	78	85	163
35	奥澤 剛男	龍 ヶ 崎	85	79	164
35	後藤 章	武 蔵 松 山	82	82	164
35	小久保武夫	藤 沢 同 業	83	81	164
35	萩原 克爾	藤 沢 同 業	82	82	164
35	江澤 健夫	習 志 野	84	80	164
35	薄井 親男	ユ ー ア イ	79	85	164
41	宇賀神佐美	大 利 根	85	80	165
41	船越 茂人	スプリングフィズ	82	83	165
41	高橋 正敏	入 間 市	82	83	165
44	鹿室 一郎	玉 造	83	83	166
44	松野 真三	府 国 際	83	83	166
44	河野 晃	甲 府 国 際	85	81	166
44	植松 潤一	沼 津	79	87	166
44	坂本 章二	東 松 山	82	84	166
44	得能 三郎	板 橋 木	79	87	166
44	小原 秀浩	大 利 根	81	85	166

以上日本シニアゴルフ選手権競技出場有資格者

44	山田 勲	富 士 河 口 湖	75	91	166
44	山田 晃	穴 沢 山	82	85	167
52	村山 正光	嵐 山	87	80	167
52	渡辺 和喜	船 橋	87	80	167
52	佐久間紀明	あ さ ひ ヌ 丘	85	82	167
52	野口 誠治	湯 河 原	83	84	167
52	伊藤 亮一	嵐 山 国 際	82	85	167
52	三枝 節	藤 ヶ 谷	84	83	167
59	佐藤 一夫	下 野	84	84	168
59	今井 一男	那 須 小 山	85	83	168
59	関橋洋之助	飯 能 グ リ ー ン	84	84	168
59	大森 健二	東 筑 波	80	88	168
59	宮里 佑文	飯 能	82	86	168
59	平野誠四郎	成田スプリングス	83	85	168
59	鈴木 重良	富 士 笠 間	81	87	168

予選メダリスト

第1ブロック	板橋 理 (東 松 山)	72ストローク
	鈴木 正治 (府 中)	・
	竹村 昭雄 (嵐 山)	・
第2ブロック	杉田 敬三 (多 摩)	72ストローク

第3ブロック	関口 幸雄 (芳 賀)	70ストローク
第4ブロック	浅井 和彦 (横 浜)	71ストローク

	藤島 英貴 (甲 斐 駒 倉)	・
--	-----------------	---

●関東ジュニアゴルフ選手権

ゴルフのエッセンスが消えた

文・吉川英明 (KGA広報委員) 写真・渡部義一



今年のチャンピオン 左より 中島徹君(男子15歳～17歳)、伊藤勇気君(男子12歳～14歳)、佐藤里菜さん(女子15歳～17歳)、関 舞さん(女子12歳～14歳)

びていなければ、グリーンも硬く締められてはいない。選手たちにとって、ゴルフとは易しいものだろうと思う。

だが、ふとこれでいいのかな、と考えてしまう。パーシモンと糸巻きの時代に先人たちがお互いに磨き合った工夫や技術や戦術、といったゴルフのエッセンスのような部分がまったく抜け落ちてしまっている。

飛距離の増加競争は両刃の剣

時代の趨勢といってしまうとそれまでだが、限りなく過熱する用具メーカーの飛距離増加競争は、トーナメントゴルフ、殊にこれから伸びていこうとするジュニアにとっては両刃の剣という気がしてならない。

たとえば、8番のパー5。

「15～17歳の部」で優勝した駿台甲府の中島徹のプレーを私はグリーンサイドで見ている。

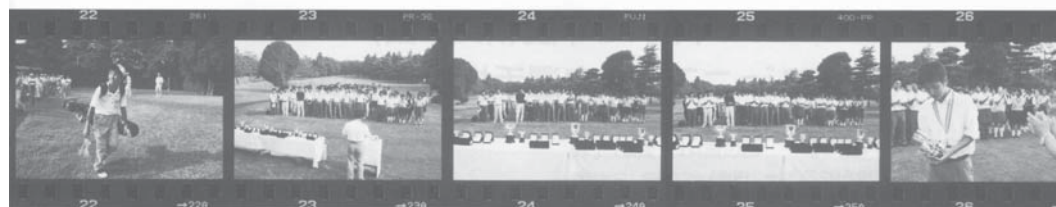
スプーンで打った中島の第2打はグリーン手前の花道に2バウンドしてオン。そのままピンに向かってすると転がり、カップを掠めて3メートルほど奥に止まった。中島は下りのパットを慎重に沈めてイーグルを取ったが、あわやダブル

とにたく、飛ぶ……最近のジュニア、特に高校生のゴルフを見ていて感じるのは、まずその飛距離の凄さである。

体もさして大きくない、どちらかといえば小柄な選手でも、そのドライバーから打ち出されるボールは、一見プロのそれとも見紛う。

これだけドライバーが飛んでしまうと、もうコース設計者の戦略上の意図など、何の意味も成さない。その上、ジュニアの場合、プロの試合と違って、コース設定も通常のままである。ラフも伸





吾が子の優姿を見守る

ーグルかと思わせるショットだった。

8番は、515ヤードのパー5だが、フェアウェイからのセカンドショットは、上位の選手ならほぼ全員がグリーンあるいはグリーン周辺まで届いてくる。中にはアイアンを手にする選手さえいるのである。

このホールは、グリーンからやや手前のフェアウェイの左右にクロスバンカーが配置されていて、一昔前までの常識的な飛距離のプレーヤーのセカンドショットを待ち受けている。私は常々、このバンカーの配置の妙に感心しているのだが、中島をはじめ、優勝を争っている選手たちには、このバンカーは目に入るまい。彼らのショットは、このバンカーのはるか上空を飛び越え、グリーン近くに着地するのである。

豪快といえば豪快、見ていてある種の爽快感さを感じるのだが、一方ではなんとなく大味で、い

つもは感心して見ているバンカーが間の抜けたものに見えてくるのが悲しかった。

だが、それだけの飛距離を持っていても、ゴルフには随所に落とし穴がある。2位に5ストローク差と大差で迎えた18番、中島はセカンドショットをバンカーに入れ、そこからのショットもグリーンをオーバーしてダブルボギーのピンチとなった。

しかし、その逆目のラフからの下りの難しいアプローチを1メートル弱に寄せてボギーで収めた。

「2位と差があったから、落ち着いていられました」

と中島はそのピンチを振り返るが、こ



優勝者（15歳～17歳）中島徹君のガッツポーズ



の高校2年生、精神的にもなかなかタフなものを持っていると見た。

ジュニアのゴルフは楽しく

高校1年、2年と関東ジュニア2連勝である。来年も勝って3連勝とすれば新記録の偉業だが、当面の目標はまず日本ジュニア、そして将来はアメリカのツアーで通用する選手になりたいという。関東女子で平成4年、10年、11年に優勝した姉の中島真弓とともども、今後の活躍が楽しみな選手である。

「女子15～17歳の部」は、立正の佐藤里菜が、アンダーバーの71という好スコアで優勝したほか、ティーは違うが「男子12～14歳の部」でも小見川中の伊藤勇気が71とアンダーバーをマークした。

「女子12～14歳の部」でさえ藤村女子中の関舞の優勝スコアは76である。

「スコアは素晴らしいが……」

と、最近、マナーや言動の乱れが批判されるジュニアだが、今度の大会では、選手全員、総じてきちんとした規律があって好感が持てた。

ただ、最近、一部親たちの間に、スコアにこだ

わるあまり、公衆の面前で子供に体罰を加えるなどの事例があった。子供の駄目と言われてしまえば文句は言えないが、公の場でのそれは見苦しいし、行き過ぎは子供を萎縮させ、本来は楽しくあるべきはずのゴルフを重めてしまう。ジュニアのゴルフは楽しく……が本道だろう。



両親に向けてVサイン



猛暑もジュニアには平気



平成13年度(第22回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成13年8月2日(木)～3日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
7,001ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	1ラウンド	2ラウンド	合計
1	中島 徹	駿台甲府 (2)	69	69	138
2	額賀 辰徳	鹿島学園 (3)	71	71	142
3	北田 隼士	埼玉平成 (3)	75	68	143
3	篠原 貴史	横浜商大高 (1)	73	70	143
3	斉藤 麗	駿台甲府 (1)	71	72	143
6	築館 利明	千葉商業 (3)	75	69	144
6	勝又 崇之	小山 高 (2)	69	75	144
8	小原 淳	成城学園 (3)	72	73	145
8	池田 勇太	千葉学芸 (1)	69	76	145
10	佐藤 達也	千葉学芸 (2)	75	71	146
10	羽生 淳一	水 城 (2)	73	73	146
12	久保谷公貴	埼玉 栄 (3)	77	70	147
12	加藤 将明	埼玉 栄 (3)	75	72	147
14	橋爪 光彦	佐野日大 (2)	78	70	148
14	岡田 壮広	佐野日大 (1)	76	72	148
14	奥山 裕士	修 徳 (3)	75	73	148
14	早乙女剛史	佐野日大 (2)	73	75	148
18	斉藤 主将	星 陵 (1)	77	72	149
18	伊藤 祐太	学館浦安 (3)	77	72	149
20	加藤 大幸	埼玉 栄 (3)	77	73	150
20	岡田 豪太	慶應義塾 (3)	75	75	150
20	松本 瞬	茗溪学園 (3)	74	76	150
20	大久保英貴	駿台甲府 (2)	75	75	150
20	松村 道央	佐野日大 (3)	73	77	150
25	真家 賢政	水 城 (1)	77	75	152
25	糸井 中	水 城 (3)	76	76	152
25	丸山 聖	学館浦安 (2)	76	76	152
25	高城 秀斗	埼玉 栄 (2)	80	72	152
25	茂呂 和希	佐野日大 (2)	75	77	152
30	井上 法紀	日大ー高 (2)	78	75	153
30	江間 広起	横浜 高 (3)	76	77	153
32	遠藤 智樹	東海大三高 (3)	78	76	154
32	真田 利彦	東大和南 (3)	78	76	154
32	永沼 慶	伊東商業 (3)	77	77	154
32	吉住 彰康	日大ー高 (3)	77	77	154
32	青木 慶太	セントメリーズ (1)	74	80	154
32	佐藤 勝晃	千葉日大ー高 (1)	73	81	154
38	渡辺 将光	専大附属 (3)	78	77	155
38	内田 貴久	日体荏原 (3)	77	78	155
38	山口 章太	八 海 (3)	77	78	155
41	渡辺 匠人	富士河口湖高 (2)	79	77	156

順位	選手名	学校名/学年	1ラウンド	2ラウンド	合計
41	岩間 智也	水 城 (3)	79	77	156
41	額所 卓	埼玉 栄 (1)	79	77	156
41	大野 裕哉	埼玉大深谷 (3)	79	77	156
41	田中 邦明	武 相 (3)	77	79	156
41	平瀬 勇太	埼玉平成 (3)	80	76	156
41	佐野 未来	駿台甲府 (2)	81	75	156
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
48	山田健二郎	稲 取 高 (2)	78	79	157
48	林 光一	埼玉 栄 (3)	80	77	157
48	高橋祐太郎	水 城 (2)	80	77	157
48	塚本 真司	作新学院 (2)	80	77	157
48	丸山 真直	駿台甲府 (2)	75	82	157
48	小池 一平	駿台甲府 (1)	82	75	157
54	齋藤 伸夫	慶應義塾 (2)	77	81	158
54	塚田 陽亮	フラデントAC (1)	80	78	158
54	芳賀 洋平	埼玉 栄 (1)	81	77	158
57	中村 亮太	駿台甲府 (2)	77	82	159
57	木村 徹	鳩 山 高 (3)	81	78	159
59	土屋 彰	千葉黎明 (3)	77	83	160
59	澤木 正宏	埼玉 栄 (3)	80	80	160
59	塚越 博仁	大宮開成 (1)	80	80	160
59	内田 知宏	日体荏原 (2)	81	79	160
59	尾上 博一	千葉日大ー高 (3)	82	78	160
59	遠藤 寛貴	水 城 (3)	82	78	160
65	伊東 聖悟	国士 館 (3)	80	81	161
65	渡辺 悠	埼玉 栄 (2)	81	80	161
65	松原 大樹	埼玉平成 (2)	82	79	161
68	渡邊 悠太	埼玉 栄 (2)	79	83	162
68	白尾 卓也	ヒルズ学園 (3)	80	82	162
68	高柳 祐介	日 大 高 (2)	81	81	162
71	箱川 亮	横浜商大高 (3)	78	85	163
71	木村健太郎	農大三高 (3)	81	82	163
71	広沢 望	水 城 (2)	82	81	163
74	上迫 友貴	アミューズ (11)	81	83	164
74	加藤 成二	日大ー高 (2)	82	82	164
76	福田 智仁	日大三島 (3)	79	86	165
76	石田 翼	静岡学園 (1)	81	84	165
78	山口 祐平	厚 木 北 (1)	80	86	166
78	長堀 潤	日体荏原 (3)	81	85	166
80	桜井 政彦	日体荏原 (2)	82	98	180

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成13年8月3日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,349ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	佐藤 里菜	立 正 (1)	35	36	71
2	三塚 優子	埼玉 栄 (2)	36	36	72
3	三田 華苗	佐野日大 (3)	38	35	73
4	藤田 幸希	佐野日大 (1)	38	36	74
5	安田 記子	武 蔵 野 (3)	38	37	75
6	川口奈緒美	埼玉 栄 (3)	39	37	76
7	高橋友希子	埼玉 栄 (3)	40	37	77
7	飯島 茜	堀 越 (3)	42	35	77
9	椎原このみ	埼玉 栄 (2)	39	40	79
9	鈴木ゆり子	日大三島 (3)	42	37	79
11	永嶋亜沙日	厚木北高 (3)	41	39	80
11	星野 希	埼玉 栄 (2)	43	37	80
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
13	杉山 加奈	埼玉 栄 (2)	41	40	81
13	荒幡 桂子	埼玉 栄 (3)	39	42	81
15	笠折 瑠実	堀 越 (2)	41	42	83
16	宮田 麻実	埼玉 栄 (1)	40	44	84
16	柴田 吏南	厚木北高 (3)	45	39	84
18	本仮屋沙織	埼玉 栄 (2)	42	46	88

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成13年8月3日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,349ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	関 舞	藤村女子中 (3)	38	38	76
2	米田 真澄	森 中 (2)	45	34	79
3	青木 敬子	湘 洋 中 (3)	39	42	81
3	小山恵利子	足立十三中 (3)	43	38	81
5	本部 智美	学館浦安中 (3)	39	43	82
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
6	黒岩 果織	堀憲東中 (3)	40	44	84
7	醍醐 一菜	学館浦安中 (3)	44	42	86
7	吉田弓美子	田 名 中 (2)	44	42	86
7	三川 澄恵	瀬 田 中 (3)	42	44	86

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成12年8月3日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,635ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	伊藤 勇気	小見川中 (2)	37	34	71
2	吉田 真典	御前山中 (3)	37	34	71
2	井上 紳也	帝京八王子中 (3)	38	33	71
4	渡邊 優登	日大ー中 (3)	37	35	72
5	石井 啓太	飯 岡 中 (2)	35	38	73
6	高松 瑞偉	ロスアルトス (8)	40	34	74
6	木下 裕太	千城台南中 (3)	37	37	74
以上日本ジュニアゴルフ選手権競技出場有資格者					
8	鬼沢 友秀	府中七中 (2)	38	37	75
8	高橋 隆人	並 櫻 中 (3)	39	36	75
10	岡田 卓麻	千葉日大ー中 (3)	35	41	76
10	小林伸太郎	榛 名 中 (3)	36	40	76
10	真田 雅彦	立川四中 (3)	37	39	76
13	高橋 佳祐	佐 野 中 (3)	36	41	77
13	日原 篤志	馬 込 中 (2)	37	40	77
15	肥田 佳大	学館浦安中 (2)	40	39	79
15	高橋 良輔	春 里 中 (1)	40	39	79
17	石田 翔	岡 部 中 (2)	40	40	80
17	阿部 祐希	加茂若宮中 (3)	41	39	80
17	篠塚 直彦	小見川中 (3)	41	39	80
20	池之上拓也	御所ヶ丘中 (3)	40	41	81
21	吉田 研人	足立十六中 (1)	45	39	84
21	杵野 謙二	新津五中 (2)	43	41	84
23	宇佐美祐樹	成城学園中 (1)	41	45	86
23	阿部 善彦	慶應中等部 (3)	40	46	86
23	谷山 優太	勝 瀬 中 (2)	43	43	86
26	森澤 成光	立 正 中 (2)	45	42	87
27	池田 和弘	高 洲 中 (2)	44	46	90
28	金 鈺柱	田 彦 中 (2)	47	45	92



KGAジュニアゴルフ大会

——朝霧ジャンボリーゴルフクラブ——

文・山田和臣 (KGA広報委員)

写真・舟橋一芳／片山晴美 (KGA広報委員)



会場の「朝霧ジャンボリーゴルフクラブ」は、標高800メートルの朝霧高原にある。面積は120万坪、日本一の雄大なゴルフ場である。クラブハウス正面には富士山が鎮座し、見上げる者を圧倒する。ここでは昭和46年に第13回「世界ボーイスカウトジャンボリー大会」が開催されており、子どもたちにとっては縁のあるゴルフ場と言えよう。

集まったジュニアは、61名、全員が小学生。遠く大阪から馳せ参じた子どももいた。

みんな親が同伴しているの、総勢122名。これだけの人数を1泊2日間めんどろみるとなると、かなりの目配り、気配りが必要となる。

企画段階から、親の同伴を参加条件とし、ゴルフ場内ではKGAが面倒みるとするも、道中と宿泊は全て親の責任とした。



続々と参加者が到着



事故のないように慎重に打ち合わせるジュニア委員

初日(8月8日)は、11時集合、昼食をとり、1時よりスクールを開講した。低学年(1年生～3年生)は、ショートコース18ホールを使用。高学年(4年生～6年生)は、駿河コースを使つてのレッスンをを行った。

2日目は実戦スタイル、親は全員スコアラーとして同行した。初めてラウンドする子どももあり、ジュニア委員も汗だくで運営した。午後4時、無事に全員ホールアウト、関係者一同ほっとした。

第1回のことであり、当初予定した100名にはおおよばなかったが、来年以降の参加者増はまちがいあるまい。

親子ともども、“すばらしい夏の思い出になりました”と口々に語ってくれた。

富士山も夕陽に輝いて微笑してくれた。



にぎやかな受付光景



先ずは入念に準備体操



練習も真剣そのもの



受持ちの委員と先ずはあいさつ



同行する親権者にも諸注意



第1打 それなりに決まっているフォーム





全員セルフバック お父さんと相前後して次のホールへ向う



子どもより親御さんの方が心配顔



食欲は旺盛 おかわり自由



お祖父さんの携帯で現況報告



子どもたちはすぐ仲好しとなる



実戦方式なのでスコア提出も慎重に



前川委員長の訓話をまじめに拝聴



参加者の声

この大会の関係者皆様に心より感謝申し上げます。18ホール子供たちの一生懸命にプレーする姿を見て、心から応援しました。開会式の時に委員長から「子供をなくる親がいる」というお話がありましたが、あの一生懸命なプレーをみると、とてもそんな事は出来ません。息子は残念ながら思うようなスコアは出せませんでしたが、自分がたたいてしまっている、下の学年の子供の面倒を最後までみており、親ながら感心しました。親子共々、いい経験が出来ました。ありがとうございました。

初めての競技会への参加でございましたが、このような形で親子で参加させていただけたことに、心から感謝しております。同伴の方にも恵まれ、すっかり仲良くなっただけで、マナー、ルールも教えていただくことが出来ました。スコアはともかくお友だちに支えられて本当によくがまんして18ホールをラウンドすることができたと、親として大人として、感動しています。真近でプレイをみることで、子供たちのいっしょうけんめいな様子をみて、この素晴らしい子供たちをつぶしてしまうのは親かもしれないとつくづく思いました。せっかくの素晴らしいスタートを無駄にすることのないよう、正しいゴルフを子供たちが続けられるよう、親もいっしょうけんめい歩いていこうと思っています。今回のような企画がどんどん増えて、たくさんの御父兄が参加して下さることを心から願っております。最後になりますが、大会関係者の皆様はもちろん、今回御一緒させていただいた皆様、出会わせていただきましたすべての方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

平成13年度（第1回）KGAジュニアゴルフ大会成績表

— 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ —

男子の部

●開催日 平成13年8月9日(木)
●会場 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ 駿河コース 5,265ヤード パー-72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	一柳 光輝	新 城 小 (6)	72
2	園田 峻輔	大 森 第 四 小 (6)	76
3	岡田 勝麻	千葉市立若松小 (6)	77
4	狩野 純平	千葉市立金沢小 (6)	80
5	山田 弦也	日野市立日野第五小 (6)	82
6	内野 敬民	富士見市立水谷小 (6)	84
7	森本 恩星	太田市立鳥之郷小 (4)	85
8	山口 拓也	厚木市立相川小 (5)	85
9	鈴木 亮	清水町立西小 (6)	87
10	植松 拓海	横浜市内山小 (5)	89
11	長船 佑紀	正 気 小 (4)	89
12	中島 涼太	川崎市立今成小 (5)	90
13	松本 崇弘	松 原 小 (5)	93
14	篠原 慶太	富士宮市立上野小 (5)	93
15	内藤 慶	杉並区立高井戸小 (4)	95
16	納富 一輝	江東区立第一大島小 (4)	97
17	遠藤 慶祐	つくば市立二宮小 (5)	99
18	大賀 一輝	千葉市立小倉小 (4)	99
19	堀 将聡	青梅市立第二小 (6)	100
20	片野 佑紀	調布市立調和小 (4)	107
21	千丈 直人	北区立第二岩淵小 (4)	109
22	矢代 直仁	大 木 戸 小 (4)	113
23	鈴木 彰	荏 田 西 小 (6)	122
24	近藤 海也	静岡大附属浜松小 (5)	125
25	古橋 拓真	浦安市立見明小 (4)	160
26	高原 雄輝	清 明 学 園 初 (4)	163
(欠席)	小林	軽井沢東部小 (5)	

※高学年のみ（4年生～6年生）のみ上位者3名を表彰

女子の部

●開催日 平成13年8月9日(木)
●会場 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ 駿河コース 5,265ヤード パー-72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	鎌田 博美	清 明 学 園 小 (6)	84
2	斉藤 愛璃	厚木市立南毛利小 (6)	86
3	鎌田 真美	清 明 学 園 小 (5)	93
3	島津 想美	国府町立国府小 (4)	93
5	小楠 梨紗	浜松市立新津小 (4)	94
6	飯塚 奈緒	千葉市立院内小 (6)	96
7	杉山 沙羅紗	武蔵野市立井之頭小 (6)	97
8	野村 美優	墨田区立両国小 (6)	98
9	太田 蘭	元 城 小 (6)	99
10	永嶋明香里	小田原市立曾我小 (6)	100
11	湯浅 舞姫	千葉市立高洲第三小 (4)	101
12	小松 麻衣	御殿場市立朝日小 (6)	107
13	松本 早紀	内野 敬民 (6)	121
14	伊藤 明子	日本女子大附属豊明小 (5)	123
15	若崎 有里	大原教育大附属池田小 (4)	124
16	安藤 千恵	昭和女子大附属昭和小 (5)	127
17	富澤真理子	新宿区立西新宿小 (4)	135
18	伊藤 美帆	今 宿 小 (5)	141
19	植木 圭都	相 模 女 子 大 小 (5)	198

※高学年のみ（4年生～6年生）のみ上位者3名を表彰

平成13年度（第7回）ジュニアゴルフ大会成績表

— 若洲ゴルフリンクス —

男子の部

●開催日 平成13年8月28日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー-72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	櫻井 将大	草 津 小 (6)	69
2	佐藤 秀憲	植 木 小 (4)	70
3	一柳 光輝	新 城 小 (6)	72
4	石川 遼	松 伏 小 (4)	73
4	北川 祐生	江戸川区立小松小 (5)	73
4	最所 昌弘	千葉市立小谷小 (6)	73
7	小袋 秀人	横浜市立大森小 (4)	76
7	園田 峻輔	大 森 第 四 小 (6)	76
7	山田 弦也	日野市立日野第五小 (6)	76
10	天野 翼	内原町立妻里小 (6)	77
10	岩崎 誠	茂原市立茂原小 (6)	77
10	大槻 智春	神栖町立大野原小 (6)	77
13	内野 敬民	富士見市立水谷小 (6)	78
13	狩野 純平	千葉市立金沢小 (6)	78
13	小川 智	三鷹市立立野小 (6)	78
16	長船 佑紀	正 気 小 (4)	80
17	伊山 祐介	大田区立徳持小 (4)	81
17	尾崎 貴将	青山 学 院 初 (5)	81
17	中島 涼太	川崎市立今成小 (5)	81
20	岡田 勝麻	横浜市立獅子ヶ谷小 (5)	82
20	菅原 諒一	横浜谷区立大森小 (6)	82
22	野田 早人	世田谷区立東大森小 (6)	84
22	日置 智己	日 出 学 園 小 (4)	84
24	久我悠太郎	那 須 小 (6)	85
25	足立 茂晴	八街市立川上小 (5)	86
25	佐藤 匠	世田谷区立明正小 (5)	86
25	鈴木 崇仁	聖 徳 学 園 小 (6)	86
25	内藤 慶	杉並区立高井戸小 (4)	86
25	保田 和貴	土浦市立乙戸小 (4)	86
30	植松 拓海	横浜市内山小 (5)	88
30	千丈 直人	北区立第二岩淵小 (4)	88
32	足立 茂昭	八街市立川上小 (6)	89
32	佐藤 宇紘	鶴ヶ島市立栄小 (4)	89
32	谷口祥太郎	川 越 西 小 (5)	89
35	松本 崇弘	松 原 小 (5)	90
35	納富 一輝	江東区立第一大島小 (4)	90
37	堀 将聡	青梅市立第二小 (6)	92
38	大住星太郎	青 学 院 初 (6)	94
39	荒井 健人	横浜市内西前小 (5)	95
39	砂川 良介	立川市立柏小 (6)	95
39	東田 海	常 盤 小 (4)	95
42	片野 佑紀	調布市立調和小 (4)	96
43	勝呂 卓哉	逗子市立沼間小 (5)	98
43	鶴田 雄司	慶應義塾幼稚舎 (4)	98
43	中本 裕基	新宿区立早稲田小 (6)	98
46	小嶋 一郎	清 泉 小 (5)	99
47	矢代 直仁	大 木 戸 小 (4)	100
48	遠藤 慶祐	つくば市立二宮小 (5)	101
49	大賀 一輝	千葉市立小倉小 (4)	102
49	森井 裕太	藤沢市立滝ノ沢小 (6)	102
51	大野 昌彦	第 四 日 野 小 (6)	103
52	橋本 貴文	府中市立小柳小 (5)	104
52	松田 直人	杉並区立浜田山小 (6)	104
54	笠原 瑞城	川崎市立仙波小 (4)	105
55	松原 勝之	東 町 小 (5)	106
55	杉原 啓允	千葉大附属小 (6)	106
57	近藤 雅大	野田市立二ツ塚小 (6)	109

※高学年のみ（4年生～6年生）のみ上位者3名を表彰

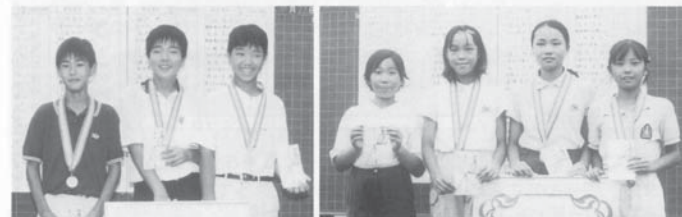
ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
57	吉沢 啓之	延 山 小 (4)	109
59	桜井 翔平	品川区立小山小 (6)	110
59	常世田誠道	旭市立矢指小 (5)	110
61	小林 茂生	軽井沢東部小 (5)	111
61	酒井 勇輝	板橋区立志村第五小 (4)	111
63	樋口雄太郎	浦安市立日の出小 (6)	115
64	西山格之進	日 出 学 園 小 (5)	120
65	川口 大輔	日 の 出 小 (4)	121
66	樋口健太郎	浦安市立日の出小 (4)	123
67	木口 幹康	取手市立永山小 (5)	124
68	藤重 光希	日 の 出 小 (4)	125
69	高原 雄輝	清 明 学 園 初 (4)	130
70	古橋 拓真	浦安市立見明小 (4)	133
71	竹澤 亮輔	日 出 学 園 小 (4)	138
72	海野 瑠明	浦安市立日の出小 (4)	139
73	谷口健太郎	市川市立行徳小 (5)	141
(棄権)	相田 一廉	浦安市立日の出小 (4)	
(棄権)	井上 勇輝	八潮市立八幡小 (6)	
(欠席)	大竹 駿希	大 久 保 東 小 (6)	
(欠席)	中尾アレックス	西インターナショナルスクール (6)	

女子の部

●開催日 平成13年8月28日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー-72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	阿部 悠	加茂市立加茂南小 (6)	76
2	鎌田 博美	清 明 学 園 小 (6)	80
2	宅間 祥子	東 柴 又 小 (6)	80
4	斉藤 愛璃	厚木市立南毛利小 (6)	81
5	杉山 沙羅紗	武蔵野市立井之頭小 (6)	83
6	小楠 梨紗	浜松市立新津小 (4)	85
6	永嶋明香里	小田原市立曾我小 (6)	85
6	森 裕子	水戸市立緑岡小 (6)	85
9	鎌田 真美	清 明 学 園 小 (5)	86
10	直井 梨瑛	日 出 学 園 小 (5)	87
11	佐藤 絵美	日光市立清滝小 (4)	89
12	片平 光紀	川 上 小 (6)	90
13	太田 蘭	元 城 小 (6)	92
14	野村 美優	墨田区立両国小 (6)	93
15	志賀 友香	蔵 市 立 塚 越 小 (5)	96
15	清宮 恵	市原市立市原小 (4)	96
17	鈴木 美帆	慶應義塾幼稚舎 (6)	98
17	丸山あゆみ	千葉市立立新小 (6)	98
19	岩橋亜華音	白岡町立青我小 (5)	99
20	伊藤 明子	日本女子大附属豊明小 (5)	100
21	大野 和樹	第 四 日 野 小 (5)	102
22	小松 麻衣	御殿場市立朝日小 (6)	103
23	湯浅 舞姫	千葉市立高洲第三小 (4)	104
24	安藤 千恵	昭和女子大昭和小 (5)	109
25	那須 愛	藤代町立久賀小 (4)	113
26	福西 悠生	東京学芸大附属世田谷小 (4)	117
27	富澤真理子	新宿区立西新宿小 (4)	149
28	正木ひかり	川崎市立中野島小 (5)	162
(欠席)	木戸 愛	横浜質市立神明小 (6)	

※高学年のみ（4年生～6年生）のみ上位者3名を表彰



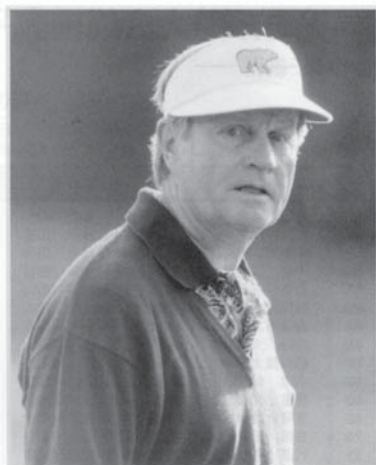
男子 左より 岡田勝麻、一柳光輝、園田峻輔君
女子 左より 島津想美、鎌田真美、鎌田博美、斉藤愛璃さん

ジュニアゴルフ大会 若洲入賞者



男子 左より 一柳光輝、櫻井将大、佐藤秀憲君
女子 左より 宅間祥子、鎌田博美、阿部悠さん

かのジャック・ニクラウスより参加者へメッセージがとどきました。



Jack Nicklaus

August 8, 2001

Dear Junior Golfers:

Welcome to Asagiri Jamboree Golf Club for the first Kanto Junior Golf Tournament. For the next two days, you will have an exciting opportunity to test your skills in tournament play. It will also be a time for making new friends, enjoying the camaraderie, and gaining experience that will enrich you for a lifetime.

You have already discovered that golf is a wonderful game, and if you choose to stick with it, it will be one which you can play and enjoy all your life. But golf is more than just a game. Many of the most meaningful lessons and some of the most important values that I acquired early in life were mastered on the golf course. The integrity, fairness and sportsmanship that I was taught there by my father and by my golf teacher, Jack Grout, equipped me to deal with life's toughest challenges as I grew older. I hope that you too will find that the golf instruction and competition you enjoy through the Kanto Golf Association and the Junior Golfers' Forfeiting Project will help you develop skills that will be applicable not only to sports, but to your careers and to all the other aspects of life as you grow up.

I wish you each the very best, play well and have fun!
Good golfing!

2001年8月8日

ジュニアゴルファーのみなさんへ

第1回関東ジュニア・ゴルフ・トーナメントのために、朝霧ジャンボリーゴルフクラブへようこそ。これからの2日間、みなさんはこの大会でその腕前を発揮する、わくわくするチャンスを手にするわけです。そして新しい友人を得て、友情を楽しみ、これからの永い人生において、みなさんの心を豊かにする経験を得ることにつながるわけです。

みなさんはすでに、ゴルフがいかにか素晴らしいゲームであるか体験していることでしょう。そしてずっとゴルフを続ければ、一生ゴルフを続け楽しむことができるでしょう。

しかしゴルフは、ゲームだけのものではありません。私が若いときに得たもっとも大事なレッスン、もっとも大切にしている宝の一つは、ゴルフコースで身につけたものです。誠実であること、公平であること、そしてスポーツマンシップは、私の父とゴルフの先生であるジャック・グラウトにゴルフコースで教えられました。

私が成長する過程において経験した人生で、もっとも厳しい試練を乗り越えるためにどうすればよいかを教えてくれました。みなさんもまた関東ゴルフ連盟のジュニアゴルファー育成計画を通じたゴルフ指導と、みなさんが楽しむ競技とか、スポーツばかりでなく、みなさんの人生、そして成長するにつれて、人生のいろいろな事に適用できる能力を身に付けることでしょう。

この大切なことを、今度の大会で必ず発見して下さることを希望します。

みなさんのベストのプレーを期待します。良いプレーをして楽しんでください。

すばらしいゴルフのために

ジャック・ニクラウス

(本メッセージは、ジャック・ニクラウスの親友である柳川邦衛氏が依頼してくれたものです)

New

新規加盟倶楽部紹介

妙高高原ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 妙高高原ゴルフ倶楽部
住 所 〒949-2112
新潟県中頸城郡妙高高原町大字関川1074-2
電 話 0255-86-4811
F A X 0255-86-4813
2. 開場年月日 平成11年8月2日
3. 理事長 楠本 昌造 (T15.10.31生)
倶楽部代表者 西野 武男
4. 倶楽部分科委員長

運営委員会委員長 田中 弘邦
ハンディキャップ委員長 高橋 信雄

5. 支配人 鈴木忠行 (S24.2.12生)

6. 倶楽部概要

越後富士と称される妙高山の麓に広がる落葉樹林帯にやさしく包まれた林間のリゾートゴルフ場です。東側の上信越自動車道の妙高高原インターチェンジより2分。JR信越本線の妙高高原駅からは車で5分と、アクセスには大変恵まれております。

広々としたフェアウェイと四季に表情を変える樹林、美しくかつ戦略的に配された池、バンカー、クリーク。攻撃ルートを自分の目で確かめながらプレーできる設計が幅広いプレーやそれぞれの満足を誘います。5人乗用カートを用意し、幅広い年齢層の方々にお楽しみいただけます。

アウトコースは、ゆったりと広がって見えるホールも、ハザードや樹林を相手に戦略性が問われるところ。ゴルフの奥深い醍醐味が訪れるたびに味わえるコースです。

インコースは妙高山や黒姫山の絵のような眺望に思わず深呼吸。その素晴らしい景観のなかで自然と親しみながら、頭脳と技量を思う存分発揮して下さい。15番のティーグラウンドからは、グリーン奥に黒姫山、右側には妙高山と雄大な景色が楽しめます。ティショットは大きな池を越えて、バンカーの右側を狙い、2打目からは正面の黒姫山

を眺みながらロングヒッターは、ツーオンのチャンスを狙えます。

クラブハウスは自然との調和を大切にされた清楚な優雅さ。華美贅沢を排したゆとりの空間の中で、真のやすらぎが広がっていきます。森林浴の後で、疲労回復、ストレス解消を求めに「21世紀の癒しのゴルフ場」として、妙高高原ゴルフ倶楽部が皆様のご来場を心よりお待ちしております。

中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部



1. 倶楽部名 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部
住 所 〒396-0301
長野県上伊那郡高遠町藤沢7051番地11
電 話 0265-96-2922
F A X 0265-96-2930

2. 開場年月日 昭和62年5月11日

3. 理事長 落合 初美 (T15.12.23生)

倶楽部代表者 落合 初美・丸茂 真

4. 倶楽部分科委員長

競技・ルール委員長 井口 恒雄
ハンディキャップ委員長 丸茂 真
フェローシップ・エチケット委員長 前野 幹夫
ハウス委員長 竹内 照明
コース・グリーン委員長 小飼 康平

5. 支配人 小出 義邦 (S20.4.23生)

6. 倶楽部概要

当倶楽部は、長野県上伊那郡高遠町杖突峠の頂上標高1,300mに位置し、雄大な自然に抱かれ、大胆さと微細さの調和のとれた、戦略性に富んだ18ホール。名峰・ハヶ岳を背景に、広いフェアウェイ、絶妙のバンカーレイアウト、白樺とツツジが綾なす詩情あふれる優美な四季の中で、快適なプレーをご満喫いただけます。

施設では美しい自然と調和する落ち着いた雰囲気、気配りのクラブハウス。広々としたロビーを中心に、レストラン、談話室、ロジックなどくつろぎを演出する多彩な施設は、エクゼクティブなお客様にも

新規加盟倶楽部紹介

ご満足いただけます。

コースへのアクセスは中央自動車道・諏訪ICから国道20号バイパスに入り茅野市方面へ進み、高架手前を側道に入り右折。安国寺バイパスに入り高遠方向に進み、国道152号線に入りコースへ。諏訪ICより20分です。

立野クラシック・ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 立野クラシック・ゴルフ倶楽部
住 所 〒290-0242
千葉県市原市中高根1166番地
電 話 0436-95-1111
F A X 0436-95-0121
2. 開場年月日 昭和61年10月18日
3. 理事長 藤村 正哉 (T14.11.4生)
倶楽部代表者 藤村 正哉・菅 千太郎
4. 倶楽部分科委員長
競技ルール委員長 菅 浦一
ハンディキャップ委員長 切替 尊敏
フェローシップ・エチケット委員長 塩谷 忠男
5. 支配人 大野 恒幸 (S14.2.1生)
6. 倶楽部概要

なだらかな地形に美しい景観を見せる丘陵コース。設計監修者ベルンハント・ランガーの理想である美しさと戦略性を兼ね備えた個性豊かな18ホール。樫、山桃、アメリカナミズキなど四季折々を彩る数百種の豊かな樹木、ビンの位置によっては2クラブも違うベンクロスベントの広いワングリーン、そして巧妙に配された真白なバンカーとウォーターハザード。そのスケールの大きさとスリリングなプレーが期待できる各ホールは、充実したゴルフライフを十分に味わわせてくれます。

また、重厚ななかにも洗練されたデザインのクラブハウスには、大きな楽しみの広がりがあり、選び抜かれた調度品、落ち着いたインテリア。そして、グルメの皆様にも満足していただけるメニ

ュー。すべてに格調高いクラブライフを満喫していただけます。

コースへのアクセスは館山自動車道市原ICから7.8km (約15分)、アクアラインからは姉崎袖ヶ浦ICから7.8km (約15分) も利用できます。

伊香保ゴルフ倶楽部 岡崎城コース



1. 倶楽部名 伊香保ゴルフ倶楽部 岡崎城コース
住 所 〒377-0302
群馬県吾妻郡東村大字岡崎1301
電 話 0279-59-3301
F A X 0279-59-3155
2. 開場年月日 昭和59年10月1日
3. 理事長 齋藤 龍二 (S33.11.9生)
倶楽部代表者 齋藤 龍二・羽切 吉一
4. 倶楽部分科委員長
競技委員長 羽切 吉一
フェローシップ委員長 桜井 輝隆
5. 総支配人 竹山 敬三 (S32.5.22生)
6. 倶楽部概要

関越自動車道渋川伊香保ICから20分、伊香保温泉から5分とアクセスもよく、フラットで雄大な27ホール。初心者から上級者まで充分たのしめるコースです。特に音羽コース8番と9番は大きな池をはさみ見て、美しく戦略性もあり名物ホールとなっております。

ファイブエイトゴルフクラブ



1. 倶楽部名 ファイブエイトゴルフクラブ
住 所 〒329-1572
栃木県矢板市安沢字打越2180
電 話 0287-41-0058

新規加盟倶楽部紹介

F A X 0287-41-0059

2. 開場年月日 昭和63年9月20日
3. 理事長 赤井 文彌 (S13.11.8生)
倶楽部代表者 選任中
4. 倶楽部分科委員長
競技委員長 筒井 弘
ハンディキャップ委員長 筒井 弘
5. 総支配人 豊永 春海 (S13.9.1生)
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、栃木県の北部に位置しております。世界で戦う丸山茂樹プロのホームコースでもあり、妥協を許さない厳しいプロの目で現在も改良を重ねています。

また、ジュニアのプレー費無料やジュニアファンデーション (ジュニア教室) の開催など、未来の丸山プロを目指す、ジュニアの育成にも力を入れています。

コースは種類も豊富な天然樹林帯を残すフラットで恵まれた地形に、ラフを含めたフェアウェー幅をたっぷり広げた林間コースとなっており、特にグリーンは丸山プロが目指すトーナメントグリーンのようなスピードに仕上げてあります。

クラブハウスはクラシカルで落ち着いた西洋風の建物で、レストランは、ゆったりと贅沢にテーブルを配してお客様を迎え入れます。

名物ホールは16番ホール、池が美しいショートホール。18番ホールは、ゴルフの醍醐味が充分味わえる最終ホールです、グリーン手前に大きな池とバンカーが待ち受ける、セカンドの落としどころが難しいホールです。

交通の便も良く、東北自動車道の矢板インターチェンジからわずか約5km、JR宇都宮線の片岡駅からも約6kmと抜群のロケーションです。

茨城県稲敷郡美浦村大山後田1059

電 話 0298-40-0066

F A X 0298-40-0077

2. 開場年月日 平成12年9月1日
3. 理事長 掛西 省吾 (S5.8.8生)
倶楽部代表者 掛西 省吾
4. 倶楽部分科委員長 未定
5. 支配人 小木曾尊文 (S25.5.15生)
6. 倶楽部概要

おかだいらゴルフリンクスは常磐自動車道・桜土浦ICより25km南下した、霞ヶ浦南岸のなだらかな丘陵地帯に東西に広がる18ホールです。

OUTコースは西側に位置し、樹齢100年以上の太木が点在する樹林帯の中に巧みに自然を残してレイアウトされた林間型の9ホール、INコースは東側の水田地帯につながるフラットな地形にレイアウトされたリンクス型の9ホールの異なるタイプの9ホールの組合せです。

OUTコースのセパレートされた林によるブレッシャー、INコースの吹き抜ける湖風の読み、また7,103ヤード (コースレート72.6) の長さへの挑戦、そして微妙なアンジュレーションと速さを隠し持つ「ドミネント芝」を使用したグリーン等十分な戦略性を秘めながらも、電磁誘導乗用カートによる完全セルフというプレー形態により、ビギナーから上級者まで幅広いゴルファーを受け入れられる、本格的でありながらプレーのしやすい設計の18ホールです。クラブハウスは2階レストランよりフロントロビーの吹き抜けまで縦3m長さ40mの自然や動物を優しいタッチで描かれた、気持ちを和ませる壁画を配し、豪華さよりもリラックスできるカジュアルな雰囲気大切にしました。

会員数は現在252名で募集中です。

おかだいらゴルフリンクス(準会員)



1. 倶楽部名 おかだいらゴルフリンクス
住 所 〒300-0402

※平成13年9月25日に加盟入会した、甲斐芙蓉カントリー倶楽部 (正会員)、きみさらずゴルフリンクス (準会員)、芝山ゴルフ倶楽部 (準会員) は、次号「KGAニュースNo.77」にて紹介いたします。

常務理事会・分科委員会

平成13年度 第1回 常務理事会議事録

日 時 平成13年7月10日（火）正午
場 所 ホテル国際観光 富士の間
出席者 福田理事長

古賀、尾関両副理事長
赤羽、新井、岩宮、海老原、
楠本、小宮山、斎藤、広中、
前川、吉田、渡邊各常務理事
陪席 萩原理事（加盟申請推
薦理事）

— 討議及び決議事項 —

福田理事長、議長を務め、定例会を開会を
宣した。

①新規加盟倶楽部、及びJGA個人会 員入会審査の件

7月10日現在、加盟申請のあった次
記、正会員5倶楽部、及び準会員1倶
楽部につき慎重審議の結果、これを
承認した。

正会員

妙高高原ゴルフ倶楽部（新潟県）
中央道晴ヶ峰カントリー
倶楽部（長野県）

立野クラシック・ゴルフ倶楽部

（千葉県）

伊香保ゴルフ倶楽部 岡崎城コ
ース（群馬県）

ファイブエイトゴルフクラブ

（栃木県）

準会員

おかだいらゴルフリンクス

（茨城県）

以上の結果、総加盟倶楽部数は
509（内準会員14、1団体）となっ
た。

尚、昨今のゴルフ界を鑑み、入会
審査基準、入会金、年会費等、連
盟規約について検討することとし
た。（担当 総務委員会）

個人会員

7月10日現在、入会申請のあった
下村忠氏他152名の者の入会を承
認し、JGAに届けを提出する事と
した。

これを加えたJGAの個人会員総数
は1,807名となった。

②JGA、地区連盟代表者会議報告（体 協問題について）

福田理事長、斎藤常務理事よりJGA
第1回地区連盟代表者会議、都道府
県ゴルフ競技団体委員会組織部会
の報告説明がなされた。

骨子は、JGA西田委員長提案の「都
道府県ゴルフ競技団体連盟」設立で
あるが、出席各常務理事より活発な
意見が出された。

KGAとしては、特別委員会、改革実
行委員会より提案され大方の賛意を
得ている。各都県にKGA支部的統括
団体を設置することを、基本方針と
することを確認した。

慎重審議の結果、いわゆる西田案に
対して、KGAとして不同意である旨
の提言を行なうこととした。

③各委員会報告及び提案

●総務委員会

小宮山委員長より、6月18日開催
の総務委員会討議事項につき、詳
細の説明の後、

①JGAの組織、財政の改革問題が
今後KGAの研究課題となる事。

②ゴルフ場利用税撤廃運動の一環
として、選挙運動の協力、要望
がなされた承した。

●KGAグリーンカード（仮称）の導 入計画案

佐藤事務総長より、上記計画案に
ついては、財政問題、個人会員制
度に重点をおき、㈱エムケーシ
ースタットと共同企画した旨の説明、
及び参画するカード各社の具体的
な現状報告の後、前向きにカード
導入計画を検討する事とした。

●コース・レート委員会

「JGA公認コース・レーティング
の認定期間」15年制定に伴う再査
定の実施について

佐藤事務総長より、JGA決定に従
い実施することになるが、KGAと
しては再査定料は無料とするが、
更新料を5万円、委員の査定交通
費、宿泊費は実費とする案が提案
され、これを了承した。

常務理事会・分科委員会

以上をもって全議事の審議を終了し、
福田議長14時50分閉会を宣した。

平成13年7月10日

議事録確認署名者

議長 福田 彰（印）

署名者 広中 三男（印）

前川 昭一（印）

平成13年度 第2回 常務理事会議事録

日 時 平成13年9月25日（火）正午

場 所 ホテル国際観光 梅の間

出席者 福田理事長

古賀副理事長

新井、楠本、小宮山、小山、

斎藤、田中、広中、前川、吉

田、渡邊各常務理事

— 討議及び決議事項 —

定刻、福田理事長、議長となり開会を
宣した。

①新規加盟倶楽部、及びJGA個人会 員入会審査の件

①次記正会員1倶楽部、及び準会員2
倶楽部の加盟申請につき審議の結
果、これを承認した。

正会員

甲斐芙蓉カントリー倶楽部

（山梨県）

準会員

きみさざゴルフリンクス

（千葉県）

芝山ゴルフ倶楽部（千葉県）

以上の結果、総加盟倶楽部数は

512（正会員495、準会員16、1団

体）となった。

②JGA個人会員入会審査の件

申請者西原史朗氏以下40名につき
原案通り承認し、JGA宛回付する
こととした。

②財日本ゴルフ協会評議員候補選任の 件

下記候補者12名につき審議の結果、
これを承認し、財日本ゴルフ協会に
名簿を提出することとした。

新井 安寿（武 蔵）

堀 正彦（小 金 井）

廣瀬 康夫（程 ヶ 谷）

石川 周（大 洗）

川手 士郎（我 孫 子）

小坂 健介（長 野）

近衛 通隆（東 京）

紅露 昭通（筑 波）

高橋 正孝（日 高）

土川 丈夫（武 蔵）

安田 弘（那 須）

吉田 友明（嵐 山）

③報告事項

①年会費の入金状況

平成13年度分未納倶楽部数は、正
会員42、準会員1（平成13年9月
24日現在）につき年内悉皆入金と

すべく督促を強化する。

②関東アンダーハンディキャップ選 手権申込状況

892名（前年比△90）

参加者増強策として次年度より個
別エントリー料金の見直し（減
額）を検討することとした。

④KGAグリーンカードの件

①小宮山常務理事・総務委員長より

㈱ダイエーオーエムシーとの提携
方式につき、仕組み、関係者のメ
リット等を説明。

②事務局より㈱ダイエーオーエムシ
ーの信用状況につき説明の上、別
途公認会計士、アナリスト等の意
見を徴することが適当との意見を
表明。

③以上を踏まえ審議の結果「本件を
前向きに研究継続する（平成14年
2月下旬総会をターゲットとする）」
ことを決議した。併せて次の3点
につき合意を見た。

i. ㈱ダイエーオーエムシーにつ
き公認会計士等による信用調
査を実施する。

ii. 加盟店（ゴルフ場）、及びカ
ードホルダーのメリット拡大
策を検討する。

iii. KGAに於ける本事業の税務上
の扱い（節税策）を研究す
る。

以上をもって全議事を終了し、福田議

常務理事会・分科委員会

長14時30分閉会を宣した。

平成13年9月25日

議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)

署名者 吉田 友明 (印)

渡邊満之助 (印)

平成13年度 第3回 コース・レート委員会議事録

日 時 平成13年9月4日 (火) 正午

場 所 ダイヤモンドホテル 会議室

出席者 福田理事長

大原委員長

岡田正・松岡各副委員長

大久保、金子、佐久間、中

川、平本、森、和田各委員

渡邊顧問

— 討議及び決議事項 —

① 査定数値決定について

小見川東急ゴルフクラブ以下7倶楽部のコース・レーティングを以下のように決定した。

小見川東急ゴルフクラブ

「バック・ティ」「ペントグリーン」

72. 0

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

70. 1

「フロント1・ティ」「ペントグリーン」

68. 9

「フロント2・ティ」「ペントグリーン」

65. 5

レインボーヒルズカントリークラブ

豊里コース

松の木・さざんか

「バック・ティ」「ペントグリーン」

69. 3

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

68. 0

「フロント・ティ」「ペントグリーン」

67. 1

「バック・ティ」「コーライグリーン」

70. 8

「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」

69. 5

「フロント・ティ」「コーライグリーン」

68. 4

さざんか・椎の木

「バック・ティ」「ペントグリーン」

68. 9

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

67. 4

「フロント・ティ」「ペントグリーン」

66. 4

「バック・ティ」「コーライグリーン」

69. 9

「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」

68. 5

「フロント・ティ」「コーライグリーン」

67. 3

椎の木・松の木

「バック・ティ」「ペントグリーン」

69. 2

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

67. 8

「フロント・ティ」「ペントグリーン」

66. 8

「バック・ティ」「コーライグリーン」

70. 3

「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」

69. 0

「フロント・ティ」「コーライグリーン」

67. 9

セントラルゴルフクラブ

JTコース

「バック・ティ」「ペントグリーン」

72. 0

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

69. 3

「フロント1・ティ」「ペントグリーン」

67. 2

「フロント2・ティ」「ペントグリーン」

65. 4

西コース

「バック・ティ」「メイングリーン」

73. 3

「レギュラー・ティ」「メイングリーン」

71. 1

「フロント1・ティ」「メイングリーン」

69. 8

「フロント2・ティ」「メイングリーン」

66. 9

「バック・ティ」「サブグリーン」

72. 5

「レギュラー・ティ」「サブグリーン」

70. 3

「フロント1・ティ」「サブグリーン」

69. 2

「フロント2・ティ」「サブグリーン」

66. 2

東コース

「バック・ティ」「メイングリーン」

72. 7

「レギュラー・ティ」「メイングリーン」

70. 3

「フロント1・ティ」「メイングリーン」

69. 6

「フロント2・ティ」「メイングリーン」

66. 1

「バック・ティ」「サブグリーン」

72. 2

「レギュラー・ティ」「サブグリーン」

69. 9

「フロント1・ティ」「サブグリーン」

69. 2

「フロント2・ティ」「サブグリーン」

65. 8

東京ゴルフ倶楽部

「バック・ティ」「バンクロスグリーン」

72. 9

「レギュラー・ティ」「バンクロスグリーン」

71. 7

「フロント・ティ」「バンクロスグリーン」

69. 9

「バック・ティ」「アートグリーン」

72. 5

「レギュラー・ティ」「アートグリーン」

71. 2

「フロント・ティ」「アートグリーン」

69. 6

おかだいらゴルフリンクス

「バック・ティ」「ペントグリーン」

72. 6

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

70. 6

「フロント・ティ」「ペントグリーン」

69. 1

東京よみうりカントリークラブ

「バック・ティ」「ペントグリーン」

72. 7

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」

70. 4

「フロント・ティ」「ペントグリーン」

68. 5

「バック・ティ」「コーライグリーン」

70. 9

「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」

68. 8

「フロント・ティ」「コーライグリーン」

66. 9

② 査定スケジュールについて

朝霞パブリックゴルフ場以下6倶楽部について、査定日を以下のように決定した。

●朝霞パブリックゴルフ場

10月4日 (木)

●城山カントリー倶楽部

11月1日 (木)

●きみさざゴルフリンクス

11月13日 (火)

●長瀬カントリークラブ

11月20日 (火)

●横浜カントリークラブ・東コース

12月6日 (木)

●日光カンツリー倶楽部

来春

③ JGAハンディキャップ委員会報告について

大原委員長より「JGA公認コース・レーティングの認定期間15年制定」に伴う再査定について、配布資料をもとに、KGA理事会、JGAハンディキャップ委員会決議事項の詳細な説明がなされ、平成14年度から実施することを確認した。

平成13年度 第6回 月例競技委員会議事録

日 時 平成13年8月10日 (金) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎、阪田各副委員長

岡野、額賀、平山、松井、湯

原各委員

学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

① 8月度競技報告及び総括

常務理事会・分科委員会

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「8月の競技としては珍しく曇り、気温も25～27℃と涼しく、競技は順調に行なわれた。高麗グリーンの手入は素晴らしく、男女共に好スコアが続出した。今月のテーマとして、始めにホールアウトした者の旗竿持ち、競技者本人によるバンカーならしはよく守られ、特にこれといったトラブルもなく終了した」。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成13年8月7日（火）
コース 船橋カントリークラブ

エントリー 126名
(男子90名、女子36名)

欠席者数 事前連絡8名
(男子7名、女子1名)

当日連絡1名（男子）
無断欠席 0名

出場者数 117名
(男子82名、女子35名)

科 罰 者 0名
ミーティング欠席 1名（男子）

失 格 者 0名
棄 権 者 0名

次回プレーオフ
(男子) 小川 透、高安信行、

石井保行、原 維雄
(女子) 楠 達子、小坂順子

②9月のテーマ

- ボールマークの修復の徹底

- 旗竿の取り扱い

平成13年度 第7回 月例競技委員会議事録

日 時 平成13年9月21日（金）正午

場 所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎、阪田各副委員長

小倉、加藤、嶋田、平山、三

木各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①9月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「月例初開催となる那須ゴルフ倶楽部は、昭和10年のオープンで全くの手造りということで、出場選手はその難しさに戸惑っていたようであった。天候は薄曇りの無風、気温18～20℃と絶好のコンディション。難しいホールロケーションであったにも関わらず、男子優勝の澤田選手の67ストロークは評価できる。倶楽部側は初めての開催ということで、準備段階から色々ご協力いただき感謝に絶えない」。

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成13年9月13日（木）

コース 那須ゴルフ倶楽部

エントリー 136名

(男子96名、女子40名)

欠 席 者 数 事前連絡7名

(男子6名、女子1名)

当日連絡1名（男子）

無断欠席 0名

出 場 者 数 128名

(男子89名、女子39名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 0名

失 格 者 0名

棄 権 者 0名

次回プレーオフ な し

②9月のテーマ

- ボールマークの修復の徹底
- 目土作業に協力しよう

③その他

柏崎カントリークラブより、小学校6年生のジュニアを参加させてほしい旨の要望があり、委員会にて協議を行なったが、Hdcp、年齢を考慮し、参加は認めないこととした。万が一Hdcpで資格を得た場合でも、春休み、夏休みに限定することとした。月例委員会では、親権者の参加承諾書を提出することで高校生からの参加を認めているが、基本的には義務教育期間中は参加を認めないことを確認した。

平成13年度 第2回 ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成13年10月1日（月）午後2時

場 所 ダイヤモンドホテル 205

出席者 前川委員長

大鷲委員長代行

大久保、荻原、笠川、吉川各

副委員長

稲川、大野、唐木、嶋田、杉

山（文）、田村、林、発知、松

井各委員

渋谷、石関、赤石、小野（重）

都県委員

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、前川委員長より今年度ジュニア育成活動について統括報告がなされた。とくに、初めての試みであったジュニアゴルフ大会——朝霧ジャンボリーゴルフクラブ——について、詳細な報告と、委員諸氏への謝辞が述べられた。

以降、大鷲委員長代行が議長となり議事を進めた。

①平成13年度ジュニア育成活動総括・反省事項

- 関東ジュニアゴルフ選手権競技

昨年度は参加者減少があった為、今年度は1会場減らし、日高カントリークラブの予選会場を27ホール3ブロックとした。

しかし今年度参加者は56名増の797

名であった。

武蔵カントリークラブより、洗面所のタオルの使い方が大変良かったと報告があり、マナーの向上成果が上がってきた。

不祥事として、予選1会場とスクール1会場において、親権者が悪スコアを理由に乱打する事件があったことが報告された。

- ジュニア・ゴルフスクール

参加人数は、春夏とも微増であった。特に小学生の増加が目立った。夏季ジュニア・ゴルフスクールでは、若洲ゴルフリンクス会場において、猛暑のため3ホールでラウンドを中止し、早めに終了した。熱射病の緊急対応、危険防止の為にジュニア委員の出席増が望まれる。

中、上級者スクールに初級者がいるために進行に問題が生じることが多かった。来年は実施規定の中に、練習場にて初級と判断された場合は、ハーフラウンドとなる場合がある旨を明記し、現場で対応することとした。また、手引きカードの使用可と、クラブ本数の減少をアピールすることとした。

- ジュニアゴルフ大会

今年度より1会場増やし、朝霧ジャンボリーゴルフクラブで「ラウンドレッスンと大会」を2日間に

渡って開催した。参加条件として、親権の同伴を義務づけた。参加者60組（120名）であった。

今年度で第7回目を迎えた若洲ゴルフリンクスの大会は、参加申込者が大幅に増加した為、6年生を優先し、151名の参加とした。

②平成14年度ジュニア育成活動について

春スクールと、関東ジュニアゴルフ選手権の日程を確認した。

③その他

- ドレスコードについて
服装の乱れは殆ど無くなった。服装の注意事項を配布している成果が出た。今後も引き続き行なうこととした。

- 都県ジュニア状況
都県のジュニア人数の片寄りが多いため、県によっては国体選手の選抜に苦労している。

優秀な選手がいても高校ゴルフ部がない為、越境入学で別の県から出場してしまうことが多い。

- 倶楽部のジュニア委員のために、運営マニュアルを作成してほしい。

- ジュニア会員へJGAハンディキャップを取得させたい。

月例競技成績表

〔平成13年度8月月例〕平成13年8月7日（火） 船橋カントリークラブ

〔男子〕

順位	スコア	氏 名	倶楽部名
1	69	原 繼雄	横 浜
2	69	石井 保行	清 川
2	69	小川 透	岡部チサン
2	69	高安 信行	セントラル
5	70	室野 歩	東 千 葉
5	70	堀内 健	千 葉 国 際

※優勝はプレーオフによる

コースレート72.0

〔女子〕

順位	スコア	氏 名	倶楽部名
1	75	小坂 順子	千 葉
2	75	楠 達子	船 橋
3	77	南雲 真理	岡部チサン
3	77	牛込 成美	下 野

※優勝はプレーオフによる

コースレート70.2

〔平成13年度9月月例〕平成13年9月13日（木） 那須ゴルフ倶楽部

〔男子〕

順位	スコア	氏 名	倶楽部名
1	67	沢田 信弘	東京五日市
2	71	阪田 哲男	袖ヶ浦
2	71	梅澤 吉朗	群 馬
2	71	秋元 一男	アカデミアヒルズ
5	72	原 繼雄	横 浜

コースレート71.8

〔女子〕

順位	スコア	氏 名	倶楽部名
1	79	南雲 真理	岡部チサン
2	80	小坂 順子	千 葉
2	80	矢島智都子	霞ヶ関

コースレート69.2

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

倶楽部名

- (新)ロイヤルスターゴルフクラブ
- (旧)君津ゴルフ倶楽部

会社名

- (新)スポーツトラスト
- (旧)君津ゴルフ倶楽部

理事長

- 甲府国際カントリークラブ
- (新)星野 正宏 (旧)對馬好次郎
- 軽井沢高原ゴルフ倶楽部
- (新)葉山 莞児 (旧)平島 治
- 甘楽カントリークラブ
- (新)山田 光夫 (旧)山田 照夫
- 総成カントリー倶楽部
- (新)摩尼 義晴 (旧)羽倉 信也
- 鷹之台カンツリー倶楽部
- (新)今井 敬 (旧)斎藤英四郎
- 長竹カントリークラブ
- (新)樋口 銑一 (旧)向井 重陽

倶楽部代表者

- 甲府国際カントリークラブ
- (新)星野 正宏 (旧)對馬好次郎
- (新)高林幸三郎 (旧)佐藤 辰夫
- 軽井沢高原ゴルフ倶楽部
- (新)葉山 莞児 (旧)平島 治
- (新)森田 康敬 (旧)丸山 亨汪
- 甘楽カントリークラブ

- (新)山田 光夫 (旧)山田 照夫
- 総成カントリー倶楽部
- (新)摩尼 義晴 (旧)羽倉 信也
- 鷹之台カンツリー倶楽部
- (新)今井 敬 (旧)斎藤英四郎
- 長竹カントリークラブ
- (新)樋口 銑一 (旧)向井 重陽

支配人

- 軽井沢高原ゴルフ倶楽部
- (新)白田 重昭 (旧)丸山 亨汪
- 筑波国際カントリークラブ
- (新)金井 誠 (支配人代行)
- (新)大塚 好雄 (支配人代行)
- (旧)竹中 太一

倶楽部電話

- 水戸グリーンカントリークラブ
- 0295-57-3331

東京事務所

- 成田ゴルフ倶楽部
- 〒101-0054
- 東京都千代田区神田錦町1-23
- 03-5280-5556

- 西南ゴルフ倶楽部 閉鎖

HDCP

- 長野県
- 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部

G-sys採用

- 群馬県
- 伊香保ゴルフ倶楽部 岡崎城コース

G-sys採用

- 栃木県
- 栃木カントリークラブ
- G-sys
- ロイヤルメドウゴルフクラブ
- G-sys

茨城県

- 白帆カントリークラブ
- G-sys
- 龍ヶ崎カントリー倶楽部
-

千葉県

- かずさカントリークラブ
- G-sys
- カメラヤヒルズカントリークラブ
- 未定→G-sys
- カントリークラブ・ザ・ファースト
- G-sys

成田ゴルフ倶楽部

- G-sys
- 南総カントリークラブ
- G-sys

南千葉ゴルフ倶楽部

- G-sys

準会員

- おかだいらゴルフリンクス
- G-sys採用

平成13年10月1日発行 KGA ニュース No.76
 発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
 発行人/福田 彰 編集/広報委員会